11	- I	= = =		1	ial .			7
	目コード 記号 3186 BS52 技術経			科 学論: Manageme		目 名 ent of Technology		
			: Park Yousin		on or reciniology			
É	学年 単位・時間			必修・選択		授業形態 単位種別		単位種別
	5B 1·100分			選	択	講義·前	期	学修単位
授業ではMOT関連の古典であるvon Hippelの『イノベーションの源泉』を紹介する。イノベーションは常にメーカーの手で行なわれるわけではない。ユーザー、関連する部品や原材料の供給業者が生み出す場合も多い。この3者の内誰がイノベーターになるかはイノベーションに対して期待する利益の大きさによって予測できる。								
		到過	重 目 桴	Ē		評	価	方 法
(1)イノベーションの源泉が誰なのかが理解できる (2)イノベーションの源泉の予測ができる (3)イノベーションの機能的源泉とその期待 利益との関係が理解できる。								
学	習∙教育	目標) 2	JABI	EE基準1(1)	(d)-(1)
	回	項	目	前		<u>期</u> 内	容	
	第1	授業紹介		技術経営論の概要、授業のやり方などを説明する。				
	第2	イノベーターと してのユー ザー①		イノベーターとしての顧客の役割について注目する。				
	第3	イノベーターと してのユー ザー②		イノベーターとしての顧客の役割について注目する。				
授	第4	イノベーション の機能的源泉 の多様性①		ユーザーがイノベーターの例				
	第5	イノベーション の機能的源泉の多様性②		メーカーがイノベーターの例				
	第6	イノベーション の機能的源泉 の多様性③		サプライヤーがイノベーターの例				
業	第7	てイノベーションの技能的源 ^良		主な仮説と機能的役割の変更の可能性につい て検討する。				
	第8	中間試験						
計	第9	オノベーションの機能 的源泉とその期待利益 との関係の検証① 仮説検証の事例紹介						
	第10	イノベーションの機能 的源泉とその期待利益 との関係の検証②		仮説検証の事例紹介				
画	第11	ライバル企業 間の協調		ライバル企業との技術情報共有				
	第12	ライバル企業 間の協調		経済学的説明				
	第13	イノベーション の機能的源泉の変化		ユーザーが開発したイノベーションの価値				
	l	イノベー	ーション					_

第14 イノベーション の源泉の予測 リードユーザーについて説明する。

MOT入門、MOT特論 プリンタを配布 イノベーションの源泉(ダイヤモンド社)

PowerPoint を併用して講義を行う。

関連科目 MOT入門、MOT特論 教 科 書 ブリンタを配布 参 考 書 イノベーションの源泉(ダイヤモンド社) 授業評価・理解度 最終回に授業評価アンケートを行う。

第15 まとめ

副担当教員備考

本講義内容のまとめを行う。また、授業評価アンケートを実施し、理解度や目標到達度を確認する。